

機能および利点

サーバー管理

- 仮想サーバーに対する制御、タスクへの素早いアクセス、ブラウザまたはコマンドラインからの統合クラスタ管理を実現
- リモート操作可能でスクリプトに対応した、包括的でセキュアなコマンドライン・インターフェース
- プロセスの再起動なしでほとんどの管理タスクを適用

多様なパターン・マッチング

- パターンに基づく多様なリクエスト処理、多数の環境変数、複雑なアプリケーションURIのマスキング、シンプルなマス・ホスティングの提供

Javaコンテナとセッション・フェイルオーバー

- プロセス内の高パフォーマンスJavaコンテナによって、Java EE 5に準拠したJava Servlets 2.5やJSP 2.1などの実装を提供
- クラスタ内でのセキュアなインメモリ永続性を介して、Javaコンテナによる軽量セッション・レプリケーションおよびフェイルオーバーを実現

WebDAVファイル管理

- 業界標準ツールを使用した容易なコンテンツの管理および公開

HTTP圧縮

- 管理者による帯域幅の節約とWebサイト・パフォーマンスの向上
- MIMEタイプ、パス、ユーザーエージェントなどに基づいたレスポンスの圧縮
- 頻繁にアクセスされるステート維持コンテンツを自動的に事前圧縮することで、システム負荷を軽減

仮想サーバーのサポート

- 1つのJava System Web Serverを使用して数千ドメインにサービスを提供
- それぞれの仮想サーバーに独自のIPアドレス、ポート、ドキュメント・ルート、ログ・ファイルなどを設定可能
- 大規模な仮想化による多数のドメインに対する効率的なマス・ホスティングと各ドメインでの大規模なカスタマイズ

一般的な脅威からの保護

- sedフィルタの組込みにより、開発者や管理者は使い慣れた構文を使用してリクエストやレスポンスを修正可能
- これにより、クロスサイト・スクリプティング（XSS）やデータベース・インジェクションなどの一般的な攻撃からの保護を実現
- URIおよびIPの両方に対するリクエスト・マッピングを提供することで、分散攻撃からの保護も実現

データの暗号化とセキュリティ

- 高度なアクセス制御リスト（ACL）、柔軟なスキーマ・サポートを備えた組み込みLDAP、SSL v2およびv3、TSL 1.0、およびElliptic Curve Cryptography（ECC）を使用したリソースの保護
- 最大4kのSSLキー・サイズを使用可能、自己署名付き証明書を簡単に生成可能
- Solaris 10の暗号化フレームワークとの統合を通じた、Niagara Cryptographic Framework（NCP）などの機能の利用
- CRLの動的更新による、高水準のサービス可用性要件と両立可能なPKI管理の実現

リバース・プロキシの統合

- 任意のユーザーエージェントとHTTPオリジン・サーバー間のHTTPエンドポイントとしてWebサーバーを利用可能

FastCGIのサポート

- アウトオブプロセス構成でサード・パーティ・テクノロジーを効率的に使用する手段を提供
- FastCGIは、大幅なパフォーマンス低下を招いたりサーバー安定性を損なったりすることなく、サード・パーティ・コードを実行する目的で一般的に使用されます

検索エンジンの組込み

- 組込み検索エンジンによる、簡単な索引付けと一般的なローカル保存ドキュメント・タイプの検索

64ビットのサポート

- Webサーバーによる最新のサーバー環境（64ビットのJavaコンテナ、利用可能なすべてのRAMを駆使するプロセス内ファイル・キャッシュ、SSL最適化など）から利用できるリソースの最大活用